

## 令和元年度オープンアクセス委員会活動報告

### 1. 会議等の開催状況

- (1) 令和元年度事業計画の策定に係るメール審議（令和元年7月）
- (2) 「機関リポジトリの再定義ついて（案）」文書の体裁調整に係るメール審議（令和元年7～8月）
- (3) 事業計画の実施スケジュール、及び「オープンサイエンス・研究データ管理に関する取組状況調査」の実施に係るメール審議（令和元年8～9月）
- (4) 「オープンサイエンス・研究データ管理に関する取組状況調査」の実施及び回答集計（令和元年9～10月）
- (5) 「オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画(案）」（総務委員会作成）に対するメールによる意見照会・取りまとめ（令和元年10～11月）
- (6) 「研究データに関する研究者の実態とニーズの把握のための調査の手引き」の作成に係るメール審議（令和元年11月～令和2年1月）
- (7) 「研究データのオープン化とそのメリット」資料の作成に係るメール審議（令和2年2～4月）

### 2. 令和元年度活動報告

研究者の実態及びニーズを調査・把握することが各機関におけるオープンサイエンス推進のために必要との認識から、調査時に活用できるよう次の2つの資料を作成した。

- (1) 「研究データに関する研究者の実態とニーズの把握のための調査の手引き」の作成

アンケートやインタビューに関し、その実施方法や調査項目などを示して各機関でスムーズに実施できるようにした手引きである。なお作成に先立ち、会員館に対して「オープンサイエンス・研究データ管理に関する取組状況調査」を実施し、作成の参考とした。

- (2) 「研究データのオープン化とそのメリット」の作成

アンケートやインタビューに際し、研究者にとっての研究データオープン化のメリットを伝えるために使用する資料である。各機関において、必要に応じて説明を補足しつつ活用してもらうことを想定している。

### 3. 委員構成

委員長： 長谷川 晃 北海道大学附属図書館長  
委員： 藤井 朱鳥 東北大学附属図書館北青葉山分館長  
大向 一輝 国立情報学研究所図書室長（令和元年8月まで）

東京大学大学院人文社会系研究科准教授（令和元年 9 月  
から）

相原 雪乃	北海道大学附属図書館事務部長
鈴木 秀樹	筑波大学学術情報部長
高橋 菜奈子	東京学芸大学総務部学術情報課長（併）情報基盤課長
山中 節子	京都大学附属図書館学術支援課長（令和 2 年 3 月まで）
杉田 茂樹	” （令和 2 年 4 月から）
郷原 正好	広島大学図書館部長（令和 2 年 3 月まで）
大元 利彦	” （令和 2 年 4 月から）
山本 和雄	鹿児島大学附属図書館学術情報部長
事務局：結城 憲司	北海道大学附属図書館研究支援課長
松尾 博朋	北海道大学附属図書館研究支援課課長補佐
堀越 邦恵	北海道大学附属図書館研究支援課係長